

# 元号総覧

- 時代区分、元号の読み方は資料により異なるものもある
- ◆は各世紀の始まりを含む元号

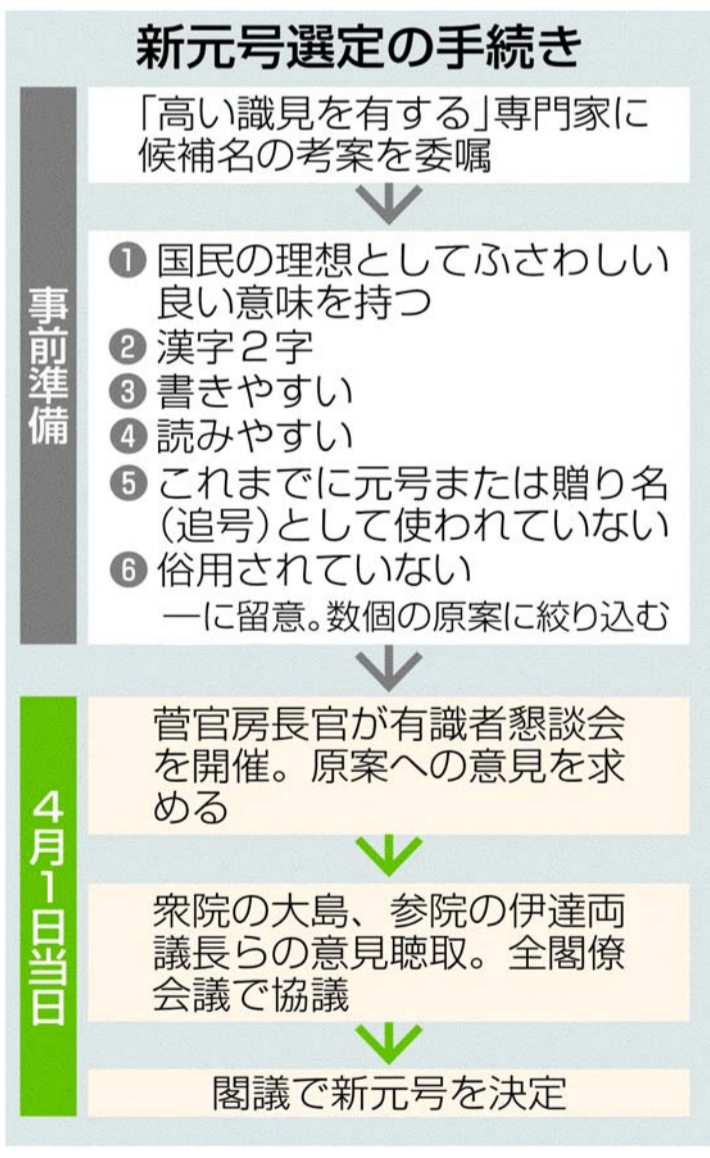
<b>奈良時代</b>	<b>飛鳥時代</b>	<b>平安時代</b>	<b>鎌倉時代</b>	<b>南北朝時代</b>	<b>室町時代</b>	<b>安土桃山時代</b>	<b>江戸時代</b>	<b>近現代</b>
和銅 たいくわ 霊亀 ろうき 養老 しょうろう 神亀 しんき 天平 たいへい 天平感宝 たいへいがんぼう 天平勝宝 たいへいしょうぼう 天平宝字 たいへいほうじ 天平神護 たいへいじんご 神護景雲 しんごけいうん 宝亀 ほうき 天応 てんおう	大化 たいか 白雉 びやくち (元号なし) 朱鳥 しゆき (元号なし) 大宝 たいほう 慶雲 けいうん	延暦 延暦 天徳 天徳 天曆 天曆 承平 承平 天慶 天慶 天徳 天徳 応和 応和 康保 康保 安和 安和 天禄 天禄 天延 天延 貞元 貞元 天元 天元 永観 永観 寛和 寛和 永延 永延 永祚 永祚 正暦 正暦 長徳 長徳 長保 長保 寛弘 寛弘 長和 長和 寛仁 寛仁 治安 治安 万寿 万寿 長元 長元 長暦 長暦 長久 長久 寛徳 寛徳 永承 永承 天喜 天喜	建久 建久 正治 正治 建仁 建仁 元久 元久 建永 建永 承元 承元 建暦 建暦 建保 建保 承久 承久 貞応 貞応 元仁 元仁 嘉祿 嘉祿 安貞 安貞 寛喜 寛喜 貞永 貞永 天福 天福 文暦 文暦 嘉禎 嘉禎 暦仁 暦仁 延応 延応 仁治 仁治 寛元 寛元 宝治 宝治 建長 建長 康元 康元 正嘉 正嘉 正元 正元 文応 文応 弘長 弘長 文永 文永 建治 建治 弘安 弘安 正応 正応 永仁 永仁 正安 正安 乾元 乾元 嘉元 嘉元 徳治 徳治 延慶 延慶 応長 応長 正和 正和 文保 文保 元応 元応 元亨 元亨 正中 正中 嘉暦 嘉暦 元徳 元徳	元弘 元弘 建武 建武 延元 延元 興国 興国 正平 正平 康永 康永 貞和 貞和 観応 観応 文和 文和 延文 延文 康安 康安 貞治 貞治 応安 応安	明德 明德 応永 応永 正長 正長 永享 永享 嘉吉 嘉吉 文安 文安 宝徳 宝徳 享徳 享徳 康正 康正 長祿 長祿 寛正 寛正 文正 文正 応仁 応仁 文明 文明 長享 長享 延徳 延徳 明応 明応 文亀 文亀 永正 永正 大永 大永 享祿 享祿 天文 天文 弘治 弘治 永祿 永祿 元亀 元亀	天正 天正 文祿 文祿	寛延 寛延 享保 享保 元文 元文 寛保 寛保 延享 延享 寛延 寛延 天明 天明 安永 安永 明和 明和 宝暦 宝暦 寛政 寛政 天明 天明 享和 享和 文化 文化 文政 文政 天保 天保 弘化 弘化 嘉永 嘉永 安政 安政 万延 万延 文久 文久 元治 元治 慶応 慶応	明治 明治 大正 大正 昭和 昭和 平成 平成

**2019年5月1日改元**

## 令和

れいわ

# 「平成」改元の手続き踏襲



新元号選定の手続きの中で新元号を決定したのは、1989年1月だった。

「平成」へ改元した際、政府の事前準備で府内で候補名を極秘に絞り込む事前準備を経、4月1日は有識者や出典を添えて提出。閣僚会議で協議し、最終的に閣議で新元号が決められた。

使用漢字は72文字

計247ある平成までの元号に使われた漢字はわずか72文字だ。「天」「元」「正」「長」「和」「治」「天」「天」「天」「天」など、1文字は「吉」「勝」「泰」「白」「福」など30文字ある。昭和の「昭」も含まれる。昭和と決まると同時に、長く良い時代になったってほしいとの願いを込めるため、特定漢字が繰り返し採用される。この例外を除いて漢字は、

その後は、各界を代表する有識者を首相官邸に招いて元号に関する懇談会を開き、原案への意見を求めた。衆参両院の正副議長からの意見聴取も実施。これらの議論を踏まえ、全閣僚会議で協議し、最終的に閣議で新元号が決められた。

その後、各界を代表する有識者を首相官邸に招いて元号に関する懇談会を開き、原案への意見を求めた。衆参両院の正副議長からの意見聴取も実施。これらの議論を踏まえ、全閣僚会議で協議し、最終的に閣議で新元号が決められた。